

競技概要 決勝

- 【競技方法】 ・1日18ホール2日間合計36ホールストロークプレー
- 予選ラウンド ①18ホール終了時点での、プロ上位60名・アマチュア上位24名が決勝ラウンドに進出する
②順位は18番ホールからのカウントバックにて決定する
※悪天候により、18ホールプレーが出来ない場合は9ホールに短縮し競技を成立とする(順位は9番ホール、18番ホールからのカウントバックにて決定する)
- 決勝ラウンド ①順位は18番ホールからのカウントバックにて決定する
②トップタイがいた場合、競技委員が指定するホールにてプレーオフを行う
※悪天候により、18ホールプレーが出来ない場合は9ホールに短縮し競技を成立とする(順位は9番ホール、18番ホールからのカウントバックにて決定する)
- 【使用ティ】 ・男子プロ・研修生・男子アマはフルバックティ(ブルー)使用
・シニア(満50歳以上)の男子プロ・研修生・男子アマはバックティ(ホワイト)使用
・女子プロ・研修生・女子アマはレギュラーティ(レッド)使用
- 【使用球】 ・アマチュア競技者の使用球は、公認球であれば、同一銘柄、同一種類の球でなくても良い。
- 【その他】 ・距離計測機の使用を可能とする(GPS機能及び、高低差機能付きは不可とする)
※カートに付いているナビは使用可
- 【競技規則】 ・アウト・オブ・バウンズの境界は、白杭をもって標示とする。
・修理地の区域は、青杭または白線をもってその限界を標示する。
・ラテラル・ウォーター・ハザードは、赤杭または赤線をもってその限界を標示する
- ・切り株、排水溝、樹木の支柱、球止めおよび防護ネット、U字溝、生垣を除く垣根、舗装された道路等は、動かさない障害物とする。
- ・樹木保護の為の巻物施設は、樹木の一部とみなす。ただし樹木の巻物施設に球が挟まった場合は、罰なしに球を取り上げて(取り戻せない場合は別の球で)その球の真下の地点から1クラブレンジス以内で、かつホールに近づかない箇所にドロップすることができる。(拾い上げた球はふくことができる)
- ・スルー・ザ・グリーンにおいて、球がその勢いで自ら地面に作った穴(ピッチマーク)に食い込んでいるときは、その球は罰なしに拾い上げて拭き、ホールに近づかず、その球のあった箇所にできるだけ近いところにドロップすることができる。ドロップの際、球はスルー・ザ・グリーンのコース上に直接落ちなければならない。
- ・ホールとホールの間では、練習ストロークをしてはならない。ただし、ハーフトーン時のパッティング練習のみ認める(練習場及びアプローチ練習は禁止)
- ・プレー中にて処置について疑問がある場合は2つの球をプレーしてそのホールを終えることができる。その際スコアカードを提出する前に、競技委員に報告しなければならない。

その他事項

・陰悪な気象状況により、競技が中断する場合の合図

中断・・・長いサイレン2回 再開・・・長いサイレン1回

※サイレンが聞こえない場合は、競技委員又はマスター室の指示に従う

・決勝ラウンドの組合せとスタート時間

予選ラウンド最終組終了した時点から1時間後に、DOCUSサイトに掲載する。
又はゴルフ場、DOCUS OPEN事務局に直接確認

【赤城カントリー倶楽部】:0277-74-5577

【DOCUS OPEN事務局 吉田】:080-4415-1149

・本トーナメントへの出場に関して、その肖像権、パブリシティ権その他の人格的権利又は知的財産権をDOCUS OPEN事務局(HARAKEN株式会社)に譲渡するものとし、DOCUS OPEN事務局(HARAKEN株式会社)がこれをいかなる方法(印刷物、メディア雑誌、電磁的媒体などその他一切の方法を含む)により、いかなる形態において使用する事についても、許諾するものとする。